

会 議 録

会議の名称	第10回 戸田市自治基本条例推進委員会																								
開催日時	令和3年11月4日(火) 午後7時00分～8時30分																								
開催場所	戸田市役所 大会議室A B																								
委員氏名	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">横山 誠</td> <td style="width: 33%;">雨木 恵美</td> <td style="width: 33%;">柴田 忠雄</td> </tr> <tr> <td>山田 博満</td> <td>細井 明美</td> <td>岩本 恭幸</td> </tr> <tr> <td>播 義也</td> <td>阿部 昌己</td> <td>溝上 西二</td> </tr> <tr> <td>飯田 峻平</td> <td>小野塚 加代</td> <td>林 公子</td> </tr> <tr> <td>そごう 拓也</td> <td>酒井 郁郎</td> <td>北川 絢子</td> </tr> <tr> <td>大沢 崇介</td> <td>松下 啓一</td> <td>大山 宣治</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">(委員長 副委員長)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">(出席 欠席)</td> <td></td> </tr> </table>	横山 誠	雨木 恵美	柴田 忠雄	山田 博満	細井 明美	岩本 恭幸	播 義也	阿部 昌己	溝上 西二	飯田 峻平	小野塚 加代	林 公子	そごう 拓也	酒井 郁郎	北川 絢子	大沢 崇介	松下 啓一	大山 宣治		(委員長 副委員長)			(出席 欠席)	
横山 誠	雨木 恵美	柴田 忠雄																							
山田 博満	細井 明美	岩本 恭幸																							
播 義也	阿部 昌己	溝上 西二																							
飯田 峻平	小野塚 加代	林 公子																							
そごう 拓也	酒井 郁郎	北川 絢子																							
大沢 崇介	松下 啓一	大山 宣治																							
	(委員長 副委員長)																								
	(出席 欠席)																								
説明のために出席した者等																									
事務局他	市民生活部協働推進課 遠藤課長、町田主幹、川原副主幹、水巻主任、小野主事																								
議 題	(1) 市長への答申(案)について (2) その他																								
会議の経過	別紙のとおり																								
会議資料	別紙のとおり																								

(会議の経過) 11/4 第10回自治基本条例推進委員会 会議録

発言者	議題・発言内容・決定事項
	<p>1 開会</p> <p>2 挨拶</p> <p>3 議題</p> <p>議題(1)市長への答申(案)について</p>
事務局	資料に基づき説明。
委員長	ただいま説明のあったとおり、いただいた意見を事務局でまとめたので、本日は内容を確認いただき、答申内容を確定させたい。しかしながら、事前に意見をいただいた中で、今まで議論に上がらなかった部分に関する意見があったため、そのご意見をいただいた委員より簡潔に説明いただきたい。
委員	推進委員会であることから、自治基本条例を推進していく方向で機能する諮問機関にしていくべきではないかと考えた。提案型の諮問機関ということで答申案が書かれているが、具体的にどうしていけばその機能を発揮していけるのか、具体的な手段や実現性に乏しいと感じた。答申として、自治基本条例に規定されている各側面の評価や、条例の推進に関わる各事業に関する年次ごとの評価・公表の実施。ただ与えられた諮問内容に答申するのではなく、委員会の設置目的の範囲内において、自主的に課題設定や検討の実施をすることや、必要十分な資料を執行部に要求していくことなどができると考えた。
委員長	個人的には、大切な視点が含まれていると感じる。戸田市の三者による協働は、市民の立場だけではなく、議会、行政といった三者の中で景色や視点が違うところはあると思うので、こういった意見はとても大事で、共有した方がよいと考え、説明をいただいた。
委員	ロジックがきちんとならない限りは、委員の方々がうまく話していけないということと、今までの会議内容から、まちづくりをやっているということのはよく分かるが、諮問委員会とはなんなのかということとをど

	<p>う理解していくのか、ロジックをきちんとする必要がある。答申2の中に実行機関としてという表現を使っているが、実行機関とはなにか。焼津市の自治基本条例は、やることを明記している。</p>
<p>委員長</p>	<p>先ほどのご意見というのは、茅ヶ崎市がやっているものに近い。庁内で自己評価するなど、評価対象も明確で、セルフチェックできる機能が備わっている。焼津市は、条例の中に別の組織として明記されており、イベントの実施をしている。これまでの戸田市の在り方は、どちらでもなく、違った道をいっており、良いとこどりのような、はっきりしないところがある。ただ、一定の合意をこの答申で得られたと感じているので、次の第4期でより深めていけるかもしれないが、まずは合意できる点から答申をさせていただき、次期に申し送るという形かなと考える。</p>
<p>事務局</p>	<p>資料の請求については、既に自治基本条例推進委員会条例で規定があるため、現在も可能であることを報告する。</p>
<p>委員長</p>	<p>必要な事柄は、以前の総合振興計画の際のように、報告や質疑、資料提出などは可能であると理解している。</p>
<p>委員長</p>	<p>皆様のご意見を盛り込んだ答申としたが、ほかにご意見はないか。</p>
<p>委員</p>	<p>答申案の漫画パンフレットの更なる活用「。」ではなく「、」、3ページ目の「引き続き」とあるが「その都度」に修正した方が良いのではないか。</p>
<p>事務局</p>	<p>修正させていただく。他にもなにか誤字・脱字ないし表現などでおかしいところであれば、事務局で修正をし、正・副委員長に確認の上で、確定版を皆様に事前に送付させていただければと考えているが良いか。</p>
<p>委員長</p>	<p>事務局に任せる。</p> <p>以上のとおり、審議し、議題1について承認いただいた。</p> <p>議題(2)その他について</p>

委員長	<p>それでは、本日予定されていた議事はすべて終了した。なお、今回で今期の委員会は最後となるため、今までの思いや市長への答申の際に伝えて欲しいことを含め、皆様から一言ずつ挨拶をいただきたい。</p>
副委員長	<p>委員の皆様には、ご多用の上、コロナ禍という状況であったが、参加していただき、お会いできるのが楽しみであった。リモート会議もたくさんやっているが、直接お会いできるという貴重な時間と経験となり、大変ありがたい。来期、全員ではないとは思いますが、新型コロナウイルスが収束し、イベントや、啓発などの活動ができていくといいなと考えるし、この委員会の在り方についても、また新しい意見も含めて、更なる発展をしていくとよいと考えます。</p>
委員	<p>中々、コロナ禍というところで、皆様とお会いすることも少なくなっていたというところではあったが、普段からボランティア活動されている方や条例の策定に関わった方など、様々な立場のところから、様々な観点で議論をし、それらを通して学べたことが、短い期間ではあったが、良かったなと感じている。会議を重ねる中で、諮問に対する答申というところで、各委員のご意見されていた内容がうまく意見が反映されているのではないかなと思ひ、皆様と複数回に渡って、内容の濃い議論ができたのかと思っている。今後もこういった活動の普及・啓発という観点から通常業務的には難しいが、視野を広げて活動していきたいなと感じた。</p>
委員	<p>答申内容は、ロジックをきちっとしないとできないと思う。考えることや、やりたいことはわかるので、自治基本条例推進委員会条例の解釈を上手くしていけば、第4期の推進委員会でやっていけると考える。</p>
委員	<p>社会情勢の変遷により、まちづくりの在り方も変わっていき、行政だけではなく、市民力が重要視され始めた時代の中で携わることができ、非常に勉強となった。我々の悩みは、ロジックや今までの枠組みが当てはまらない社会の中に突入しており、当てはめようとするから難しい。このような時代の中で、位置づけとしては附属機関だが、実行機関のようなことも期待される。例えば、大規模災害が起きたときなどは、実施機関か附属機関かどうかなんて、みんなやるしかないのだからそんなことは言っていられない。現在のなにか大きな転換の中に、自治基本条例推進委員会ということに携わって、肌で時代の変化</p>

	<p>を感じたことが、大きな収穫であったと感じる。特に、住民として考えていくのは、これからどういう風に社会がなっていくとか考えて枠組みを変えていくこと、そういう意味において提案型といったのはいいこと。市長に伝えて欲しいのは、色んな立場や今までのロジックを大事にする人もいるが、例えば町会・自治会の方は、ロジックでやっているわけではなく、必要に迫られてやっている。色々な現状や思いが詰まっているということは、ぜひ、伝えて欲しい。</p>
<p>委員</p>	<p>今期から参加をさせていただいたが、すごく意識が高い方が集まっている中で、個人的に自治基本条例は認知も興味もない状況で参加したが、大変勉強となった。最終的に今回はこういう形になったが、コロナ禍で議論が空転している感じももったいないなという思いがあった。諮問1に対する答申は実質一回、しかも半分に区切った内容であり、こういう議論がもっとやれたらよかったなと感じた。諮問2に関して、先ほど意見があったような、提案型としてなにをしていくのかと、もう一步踏み込める議論ができればよかったなという印象をもっている。それは、次期の方に持ち越し、委ねるということだと思う。そのためには、ロジックも必要だし、そういったことも含めて引き継いでいって欲しいなと感じている。諮問1についての議論が一回しかできなかったが、1の方が盛り上がっていた。そういう人材がいるので、いろんな意見が出てきて、もっと反映できたらよかったなと感じた。</p>
<p>委員</p>	<p>私も今期から関わっていたが、大変勉強となった。ひとつ思ったのは、言葉が大変難しく、文章を理解するのにすごく時間がかかるというか、なにが言いたいのか、皆さんそれぞれ専門職をお持ちかと思うが、専門用語をつかって話すと理解できない人がたくさんいる。そういう仕事をやっているのか、いかにわかりやすく伝えるかって大事かと思うことが多い。自治基本条例は身近でなければいけないことのはずが、すごく難しく感じてしまっている人は多いのかなと感じる。身近なはずのものを、もう少し身近に感じられる表現方法や、伝え方、今後、具体的な策というところから始めていくともう少しかわってくるのかなと、一主婦、市民の感じたことというか、すごく身近なはずのものを身近にするための具体的な方法について、皆さんが討論したのは意味があったのかなと感じている。</p>
<p>委員</p>	<p>この自治基本条例というのは、裾野が広く、色々なことを考えさせら</p>

	<p>れるようなことがたくさんあった。自治というものについて、やっといづらか読み込んだりして、意識がつくことができた。自治というのもまちづくりであり、町会・自治会も本当に地域の皆様のために、いろんなご苦労なさっているところであるので、できれば町会・自治会の方々も、たくさん自治基本条例にご参加していただきながら、横断的にやってもらえれば、より、良いのかなと感じた。また、戸田市に新しく戸田かけはし高等特別支援学校ができて、ノーマライゼーションというか、そういったことも地域の中に必要になってくるのかなと感じる。約260名近い生徒もいるので、そういうことも自治基本条例の中にも取り入れながら、障がい者の方を含め、垣根を取り払って、いろんな交流を持てるように、組み込んでもらえたらいいのかなと、勝手ではあるが考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>市内には47町会・自治会があり、市内でも地域により全く市の状況も違う、提案型といっても、町会長の場合は、その場、その場で物事を解決していかないと、あれはどうした。これはどうした。となってしまう。自治基本条例は知っていたが、内容的には期の途中からの参加でもあったため、今期の議事録を全て読み、こんなことやっているだというのが感想である。答申は非常によくできており、市長に今までの経緯を伝えて、若い人がどんどん増えてくる時代でもあり、少子高齢化もどんどん進むだろうから、そういった現状を市長によく伝えていただき、自治基本条例を活かしていただきたいと思っている。</p>
<p>委員</p>	<p>戸田市男女共同参画推進委員会より選出され、女性の意見を反映できたらと思い参加していた。皆さんの素晴らしい意見を聞き洩らさないようにするのが必死で、皆さんのお役に立てたかはわからないが、そういった方々とお話できて、私の中が豊かになったと感じた。自治基本条例も、初めに比べると方向転換の時期となってきているので、そういったことが次期でも、うまくいけばいいと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>第2期から携わっていて、第3期はコロナ禍ということで、中止や延期になり、みんなで話し合う時間も少なくなりましたが、まちづくりは3者で考えて作っているのだなというのが、すごく勉強になったし、理解した。地域社会のまちづくりの担い手として大事なことというのは、世代や性別、国籍などの多様性を受け入れていくことが大切であると感じた。個人的には、子育て支援をさせていただいており、町会や子ども会など、色々な面で周りを見ることができたと思う。や</p>

<p>委員</p>	<p>はり、専門的な方や一般的な方の広い視野でまちづくりに関わっていただけたら、良いと思うので、条例を作った方にもこれからもどんどん引っ張ってくれたらうれしい。</p> <p>議員という視点から話をすると、自治基本条例ができるということで当時から市民の意思をいかにして反映させるかというのが、自分の政治的な一番のテーマであったので、この条例を活用すればすごいことができるのではないかとということで、大変一生懸命やった覚えがある。当時の施政方針の頭で、今年は協働元年と謳っていたが、3年目ぐらいからトーンダウンしてしまった。今では、議会内でも自治基本条例の話題を聞くことが全くないという状況である。機会があるごとに、いかにして市民の意思を反映させていくかということで、考えて発言してきたつもりではあるが、今回、推進委員会に参加したことを機に、もう一度検討し直してみたいと考えている。</p>
<p>委員長</p>	<p>話をしてきた中で、次の世代の方たちがどのようにこういう場に、参加できるかというのは課題であると感じた。私も、今後はこういった場を離れ、なにか活動していく中で、問題提起をしていくというのも良いのではないかと感じている。自治というのは現場、フィールドでやるものであり、委員の皆さんのそれぞれ専門分野での、生の声が届いてこそ、この委員会で具体的なこととして話し合えるのではないかと感じた。こういう変化・変動の時代の突破口を開くのは、既存の人材や考え方ではないと言われているが、戸田市は転入者や若者がたくさんいる街である。そのため、そういった方々に狙いを定め、古い人は色々言いたくもなるだろうが、そういう声を聴けるような委員会が良いと感じた。原点回帰も良いが、これまでの歴史を踏まえてないと、なにもできないとなると、変化に対応できない。色々議論を重ねてきたが、言葉や歴史を理解しないと議論できないというのは協働になっていないと感じるので、想いがある人たちが自由に発言できるような、委員会になれば良いと感じた。</p>